

10月号

図書だより

令和4年10月3日

田原小学校図書室

学校の木の葉もだんだんと色づいて、これからが秋本番！



この時期は、一日の昼間の長さがどんどん短くなっていきます。

そんなときこそ【読書の秋】を満喫するチャンスですよ。



第76回読書週間ポスター

終戦から2年後の昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・書店・図書館・新聞・マスコミなどが力を合わせ、第1回「読書週間」を開催しました。

現在でも、10月27日から11月9日の2週を「読書週間」とし、日本中で本に関するイベントが行われています。

第76回目の今年の読書週間の標語は【この一冊に、ありがとう】です。



田原小学校では、全国読書週間より少し早い10月17日(月)から28日(金)に読書週間を行います。図書委員会がいろいろな企画を準備していますので、楽しみに待っていてください。

くわしい内容は、読書週間の前にお知らせします。

くうちゃんも
大かつやくするよ！



図書室の人気本ランキング

4月から9月の期間、図書室で貸し出し回数の多かった人気本・ベスト3をお伝えします。

みんなが読んだことのある本は、ランクインしているかな？



1位 『いちにち じごく』 ふうくべ あきひろ：作・・・貸出回数18回

2位 『ほねほねザウルス マヨイの森のステゴサウルス』
ぐるーぷ・アンモナイト：著・・・貸出回数17回

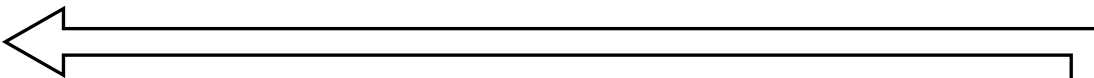
3位 『サメ図鑑 海の王者のひみつがわかる！』
田中 彰：監修・・・貸出回数16回

2学期は、どんな本に人気が集まるでしょうか？



10月10日は「目の愛護デー」ですが、読書と目の疲れには深い関係があります。長い時間同じ状態で読書をしていると、目が疲れて、視力の低下を招くことになります。

読書の秋、目にやさしい本の読み方を覚えて、視力低下を防ぎましょう。



この図書だよりのたての長さが、だいたい30cmです。

◇ 目にやさしい本の読み方とは・・・◇



- ・ 読書をするとき、目と本の間は30cm以上開ける。
- ・ 1時間ごとに10分程度の休憩を取り、目を休める。
- ・ 目が疲れてきたと感じたら、遠くを見るよう心掛ける。



今月のおすすめの本



山口 育孝：漫画
学研パブリッシング
496
ガ

『メガネと視力のひみつ』
ものが見えづらいと、毎日の生活で困ることがたくさんあります。そんなとき役に立つのがメガネです。
この本で、メガネや視力のひみつ、秘密を探りましょう。



ハリエット・ブランドル：作
ほるぷ出版
369
カ

『メガネをかけたらどうなるの?』
目だまの「ミルル」とメガネのレンズの「レンレン」が、メガネのしくみや使い方が、やっていいことダメなことを教えてくれます。



宮澤 七郎：監修
小峰書店
49
ミ
5

『マイクロワールド人体大図鑑 脳と感覚器』
人の目を電子顕微鏡で拡大してみると、驚くような画像を見ることができます。目の病気と健康についても学べる本です。



新井 仁之：著
ミネルヴァ書房
14
ア

『錯視のひみつにせまる本 全3巻』
「錯視」とは、ものを見たときにおこる錯覚のことです。錯視を通じて、目でものが見えるしくみや人間の脳の不思議な世界を知ることができます。



毎月 第3土曜日は 田原小家読の日 今月は 10月15日

